

事業所名：株式会社荏原エリオット

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

以前は身体に障がいがある人のみの雇用であり障害者法定雇用率に達していなかった。その後、特例子会社など他社を見学する中で、その他の障がいがある人でも職域を拡大することで活躍できる場があることがわかった。障がいのある人のために仕事を作り出すのではなく、職域の拡大、社内他部署からの業務の切り出し、職場環境の改善等を進めた。現在は、障がいの種類や特性に関わらず、適応できる人材を雇用し、障がいのある人もない人も共存できる職場となっている。

2. 障害のある人が従事している主な業務

一般事務補助がメインであり、データ入力、ファイリング、書類の仕分け、図書類のPDF作業、併せて郵便局や宅急便等の受け取りを含めた社内のメールセンター業務も行っている。

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

社内の各部署から業務を切り出し、業務の内製化を行っている。障がい特性に合わせて、作業環境の整備、写真や図入りの業務マニュアルの作成、習熟度に合わせて段階的な指導を行っている。複数の障害者生活相談員を設置し、相談員が一人で抱え込まず複数でサポートできる体制を整えている。社内掲示等を活用し全社員に対して、雇用に対する理解、協力を要請している。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

生活相談員による日々の朝礼、日報でのコミュニケーション強化、定期的な面談を実施している。障がい特性や配慮事項を考慮しながら、得意・不得意を見極め、個々に合わせた業務範囲の設定、業務の割り振り、指導を行っている。体調面による勤怠への配慮として週4日勤務、社内設備として障がい者用トイレ、エレベーター、手すり、サイレントルーム等を設置している。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（ 千葉障害者キャリアセンター、千葉障害者職業センター ）

活用して良かった点

課題が生じたときの相談、対処方法の提案等をサポートいただくことで、よりスムーズに解決することができている。

専門の方からのサポートを蓄積し、指導員のレベルアップにもつながっている。

ジョブコーチ支援により、障がいのある人が会社以外に相談できる場が作れたこと、また専門の方からの目線で指導のポイントを学ぶことができた。